



県内経済情勢 (令和5年7月判断)

令和5年7月26日

財務省関東財務局
千葉財務事務所


照会先

千葉財務事務所 財務課 (TEL 043-251-7213)

ホームページ <https://lfb.mof.go.jp/kantou/chiba/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している」









項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	

（注）5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	持ち直している	
生産活動	弱含んでいる	弱含んでいる	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	
設備投資	4年度は増加見込みとなっている	5年度は増加見込みとなっている	
企業収益	4年度は増益見込みとなっている	5年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

物価上昇の影響がみられるなか、家電販売額は前年を下回っているものの、百貨店及びスーパー販売額、ドラッグストア販売額などは前年を上回っている。乗用車の新車登録届出台数は前年を上回っている。娯楽や飲食サービスなどは持ち直している。このように個人消費は、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- コロナが落ち着き外出機会が増加したことで、婦人服の売行きが伸びているほか、マスク着用の見直しによって化粧品部門ではリップなどのメイク系の商品が好調となっている。(百貨店・スーパー、大企業)
- 賃上げの影響から4月以降、総菜や精肉に動きが出ているほか、コロナが5類に移行したことで夜間の売上が回復しており、特にパンや野菜、乳製品などの日配品が好調となっている。(百貨店・スーパー、中堅企業)
- 人流が戻ってきていることに加え、インバウンド需要も回復傾向にあることから、繁華街に立地する店舗を中心に売上げ・客数とも好調に推移している。また、最近の気温上昇に伴い、制汗剤やフェイスシート、日焼け止めなどの季節商品の動きも良くなっている。(ドラッグストア、大企業)
- 半導体不足が緩和され完成車メーカーが生産回復していることで、販売台数は前年を上回っているほか、納車期間も短縮している。(自動車販売、中堅企業)
- 訪日外国人の来場者が増えてきているほか、コロナ5類移行に伴い一般団体客を対象とした募集ツアーが動き出しており、コロナ前の水準に近づきつつある。(娯楽、中堅企業)
- 引き続き個人客の利用が好調であるほか、コロナが5類に移行したこともあり、これまで控えられてきた歓送迎会や法事などの団体客の需要も戻ってきている。(飲食サービス、中小企業)

■ 生産活動 「弱含んでいる」

生産を業種別にみると、鉄鋼などが増加しているものの、化学、石油・石炭製品、食料品などが減少しており、全体としては、弱含んでいる。

- 半導体供給制約の緩和による自動車生産の回復に伴い、当社製品の生産量も増加傾向にある。(鉄鋼、大企業)
- 取引先の操業不調によって原材料の供給が滞っているほか、海外経済の減速から製品需要が落ち込んでいるため、工場の稼働率は低調に推移している。(化学、大企業)
- 生産設備の定期修繕等により、足下の生産量は減少しているものの、需要自体は底堅いことから、生産量は今後増加していくと見込んでいる。(石油・石炭、大企業)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率は横ばいとなっている。新規求人数は底堅く推移している。雇用保険受給者実人員は足下で前年を上回っている。このように雇用情勢は、持ち直している。

- 工場のパート従業員の確保が課題となっている。時給を上げるだけでは差別化を図れないため、シフトを細分化し短時間で働ける環境を整備するなど、工夫をこらしている。(製造業、中堅企業)
- 人手不足は極めて深刻であり、募集をしても正規・非正規ともに応募がほとんどない状況。外国人の採用やシルバー人材の登用も考えているが、苦戦している。(宿泊、中小企業)
- アルバイトが中々採用できないため、必要に応じ人材派遣会社を利用して人員を確保している。(飲食サービス、中堅企業)

■ 設備投資 「5年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

- 製造業では前年比増減率36.0%の増加見込み、非製造業では同16.8%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同18.5%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「5年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

- 製造業では前年比増減率32.0%の減益見込み、非製造業では同15.5%の増益見込みとなっており、全規模では同9.6%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

- 先行きについては、5年10~12月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家は前年を下回っているものの、分譲住宅、貸家は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 公共工事請負金額をみると、前年を上回っている。

県内経済情勢 (令和5年7月判断)

(資料)

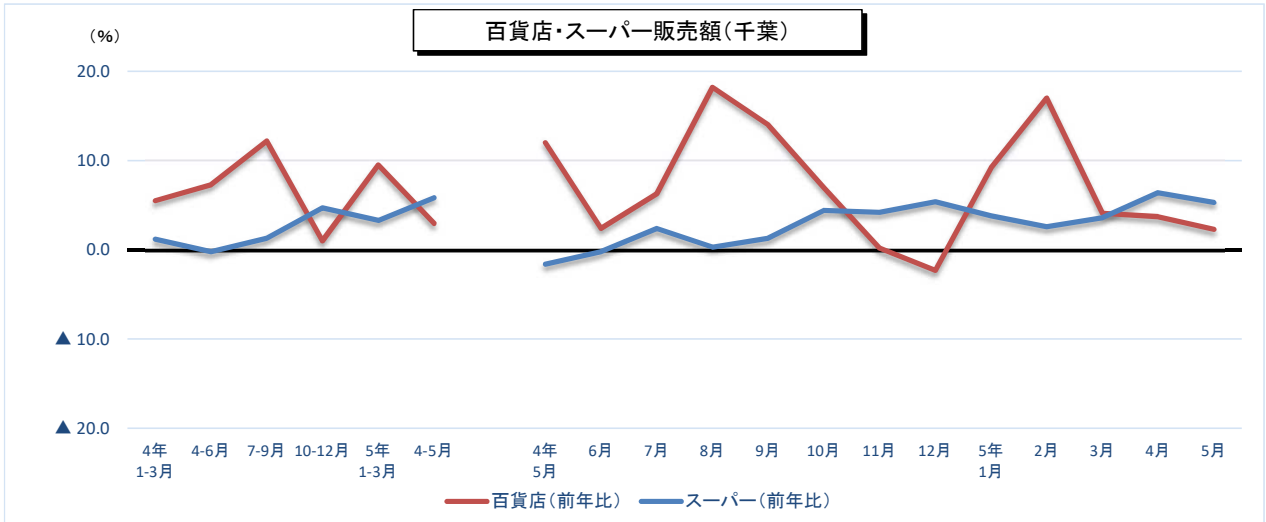
目次	(頁)
1 . 個人消費	1
2 . 生産活動	2
3 . 雇用情勢	3
4 . 設備投資	4
5 . 企業収益	4
6 . 企業の景況感	4
7 . 住宅建設	5
8 . 公共事業	5

令和5年7月26日

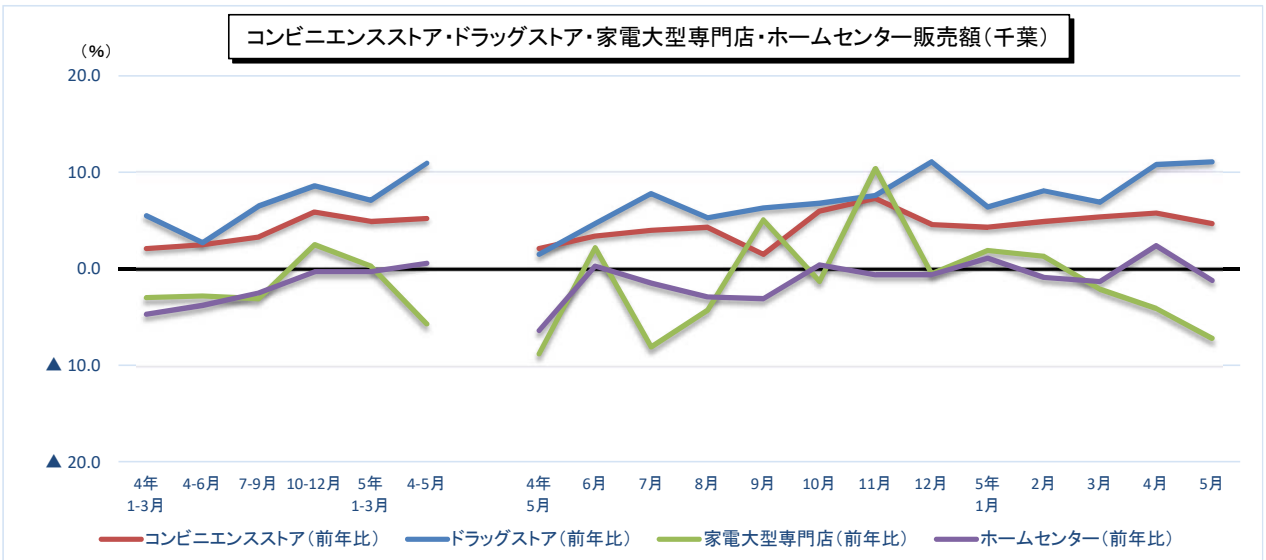
財務省関東財務局
千葉財務事務所

1. 個人消費

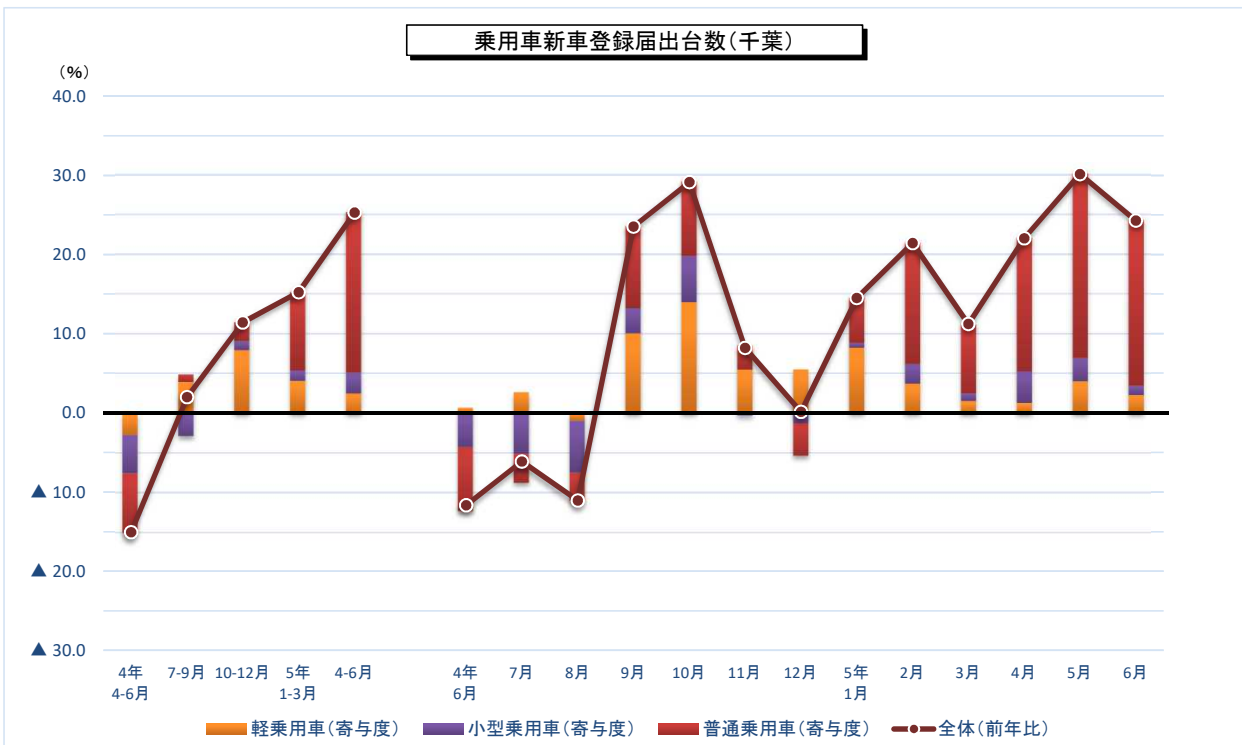
持ち直している



[経済産業省]



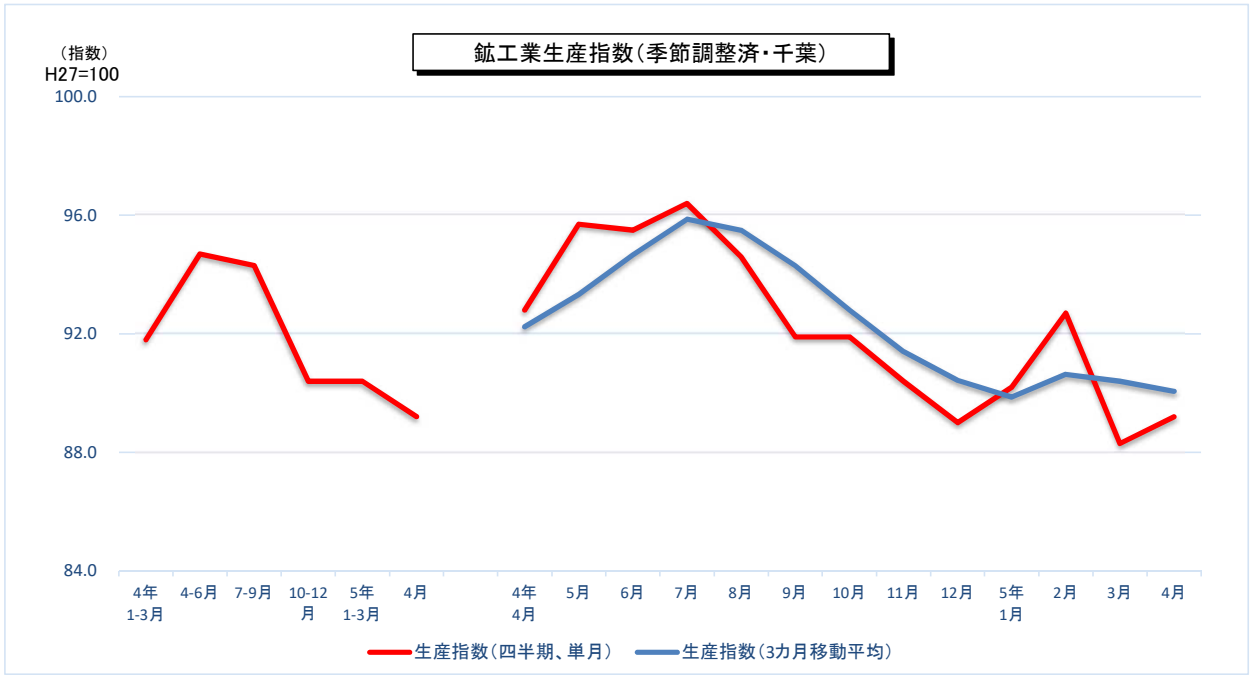
[経済産業省]



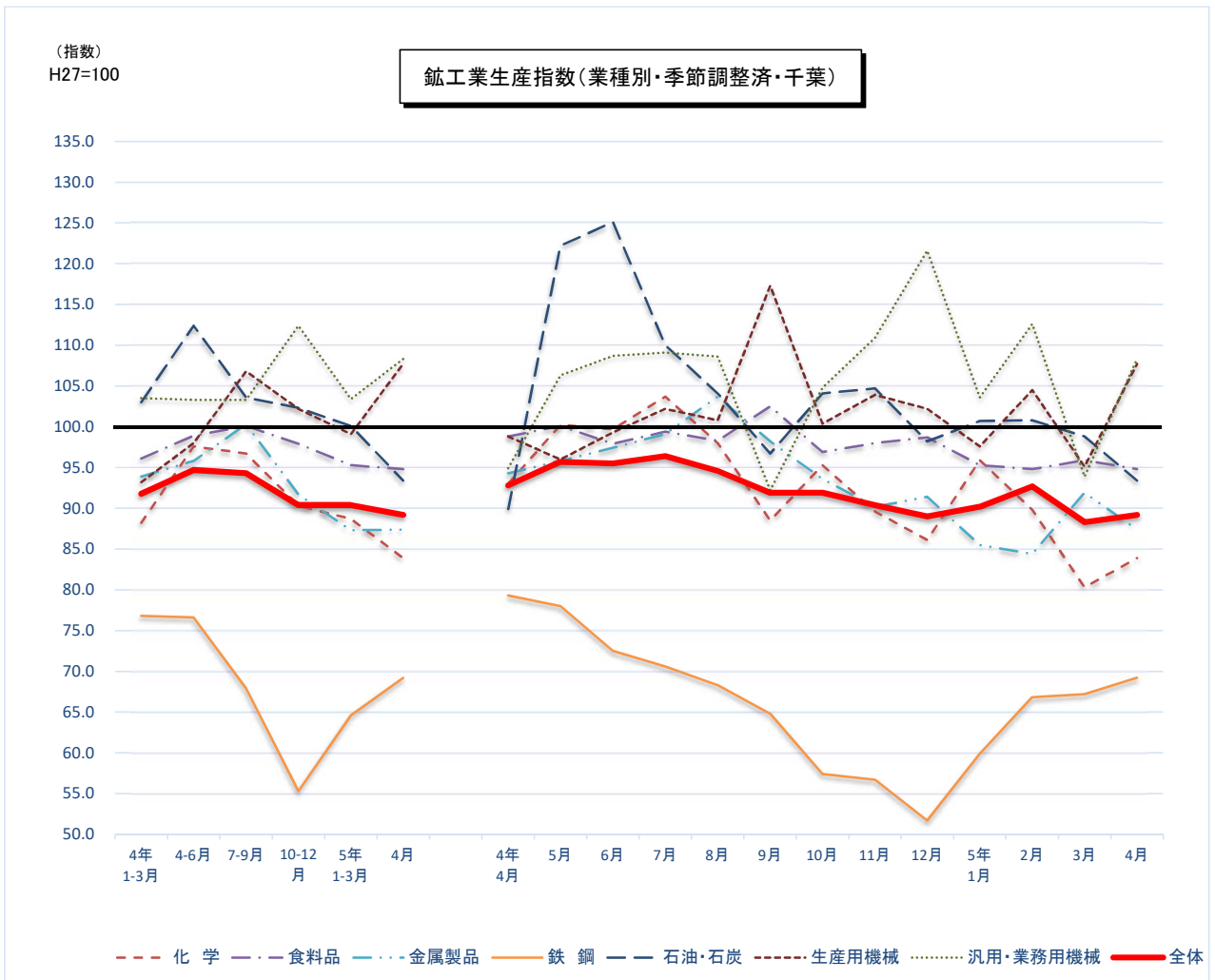
[日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会]

2. 生産活動

弱含んでいる



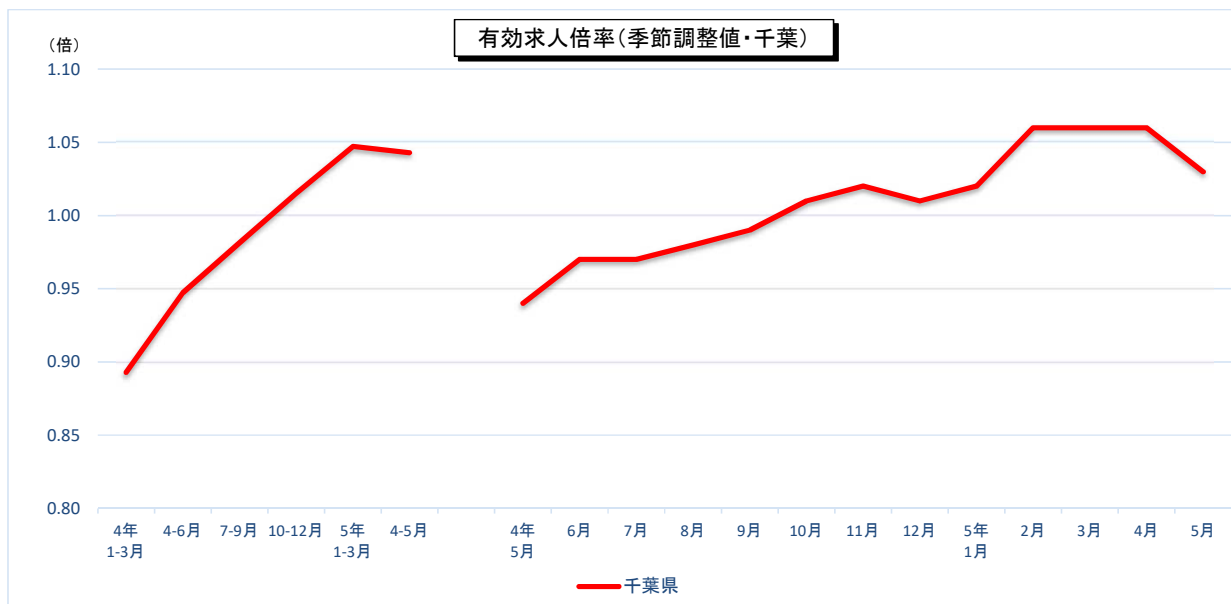
[千葉県]



[千葉県]

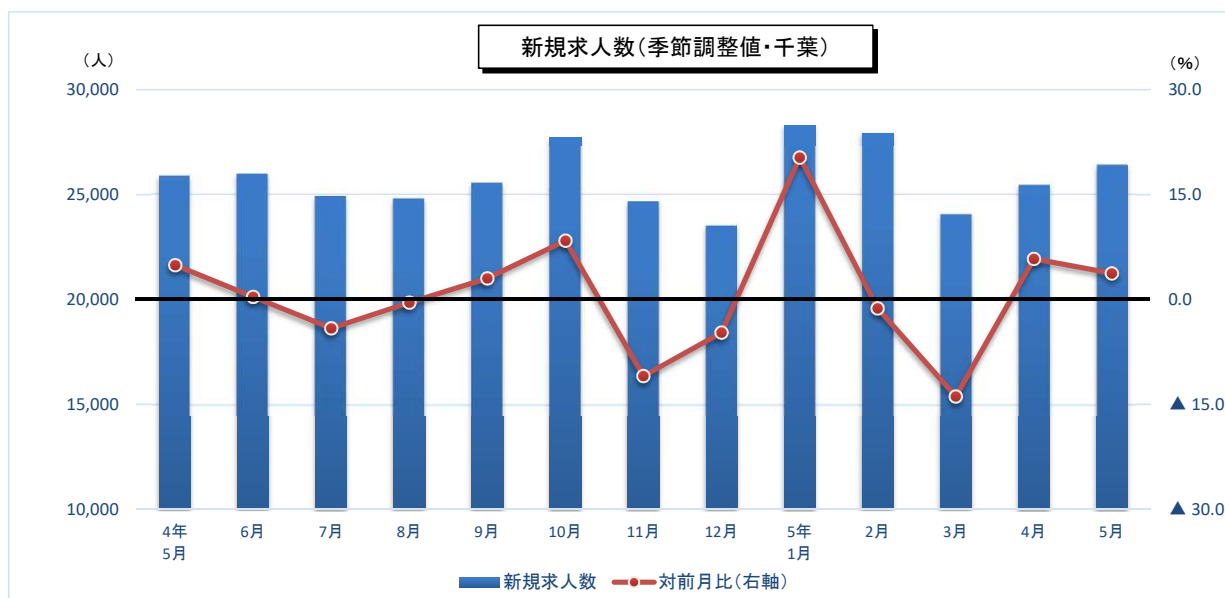
3. 雇用情勢

持ち直している

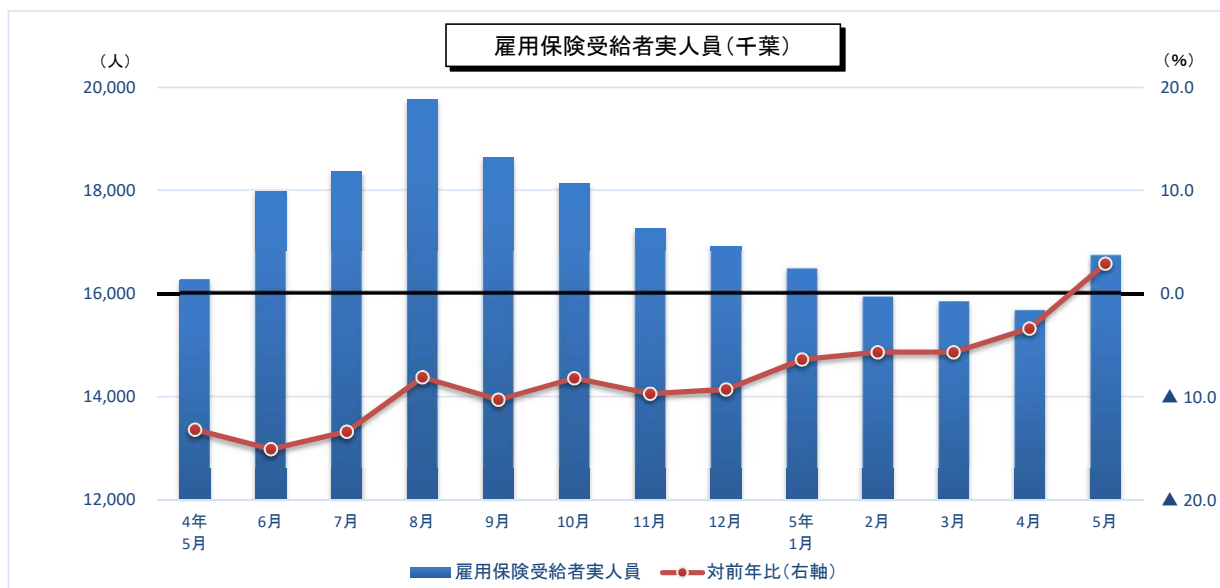


(注)四半期は期中平均である。

[千葉県労働局]



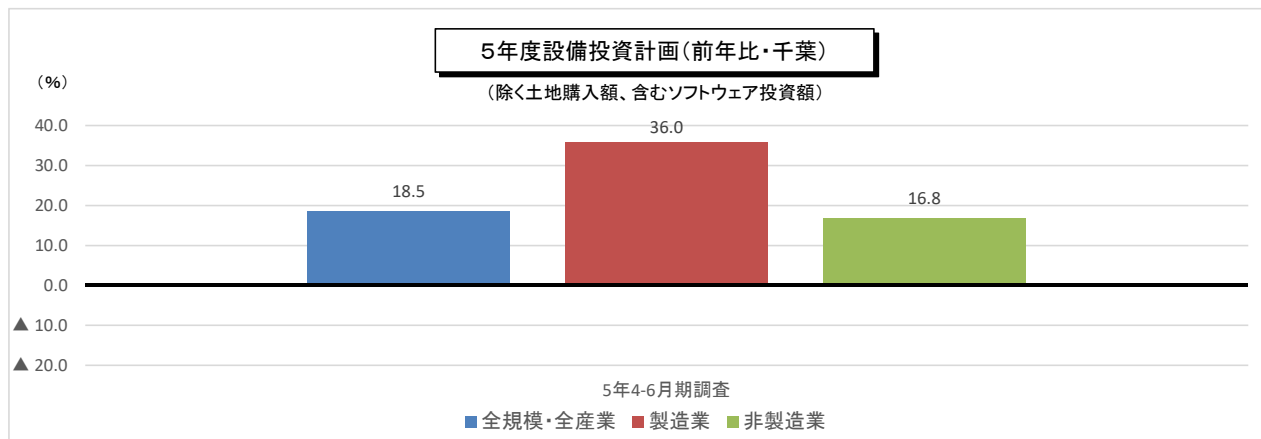
[千葉県労働局]



[千葉県労働局]

4. 設備投資

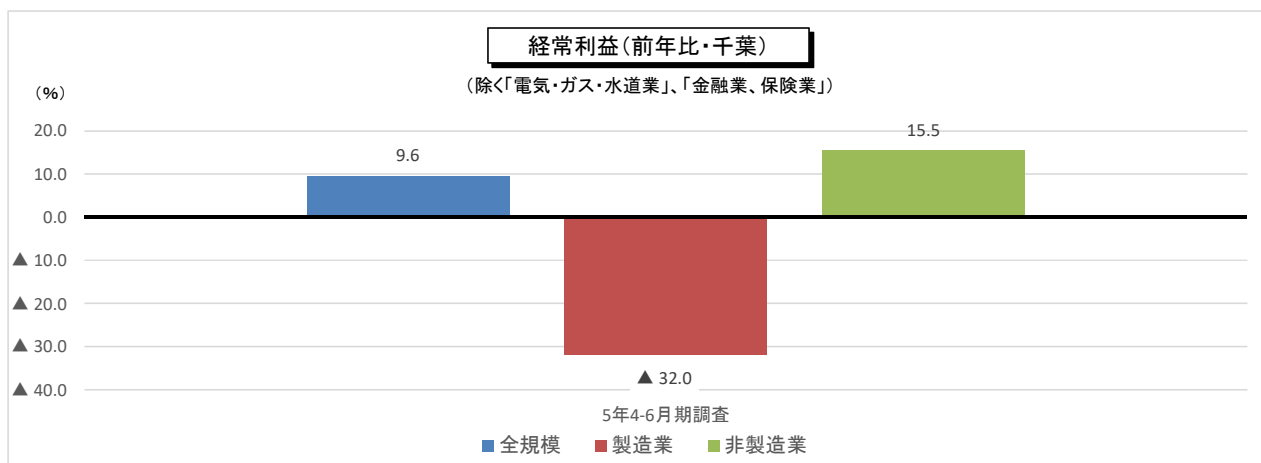
5年度は増加見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益

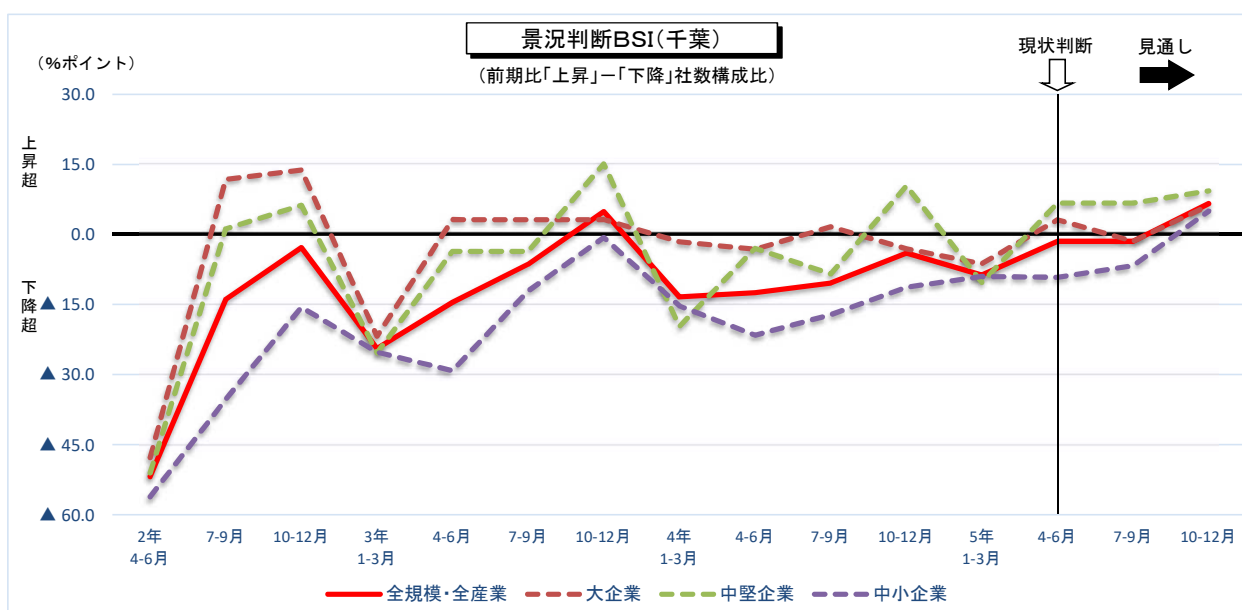
5年度は増益見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

6. 企業の景況感

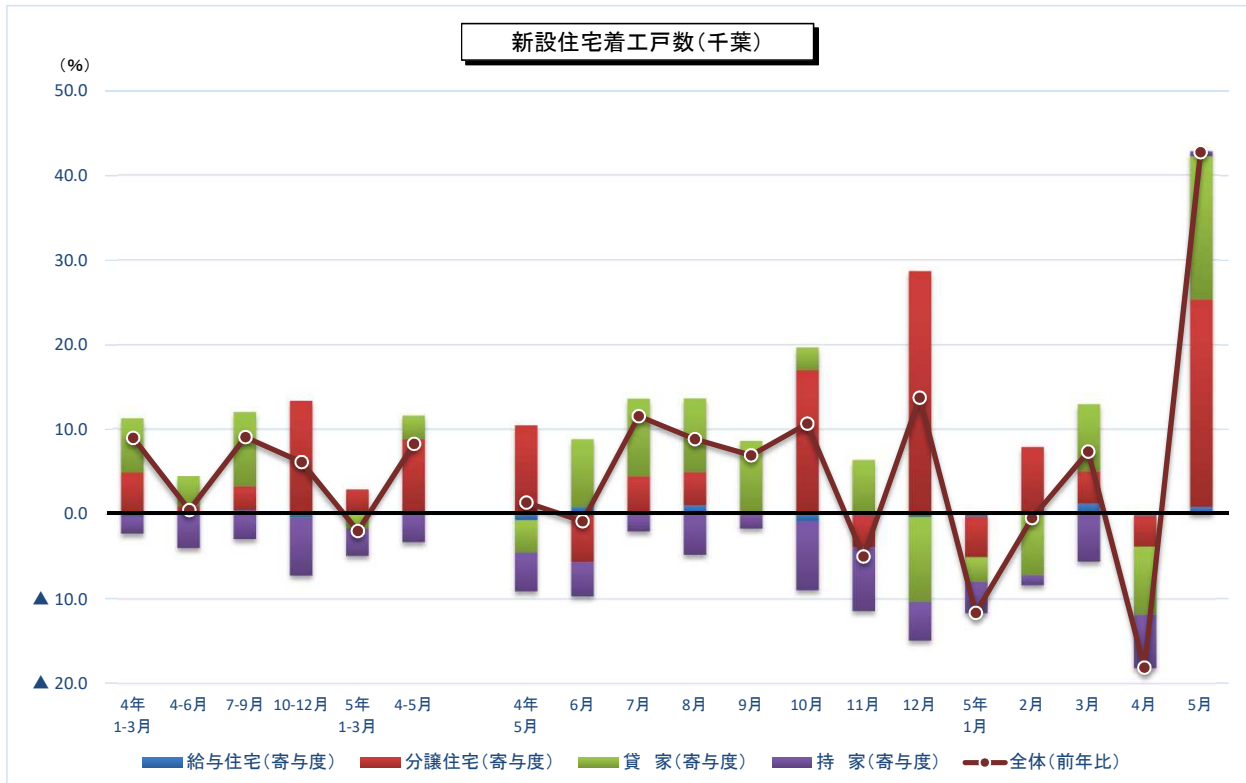
「下降」超となっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

7. 住宅建設

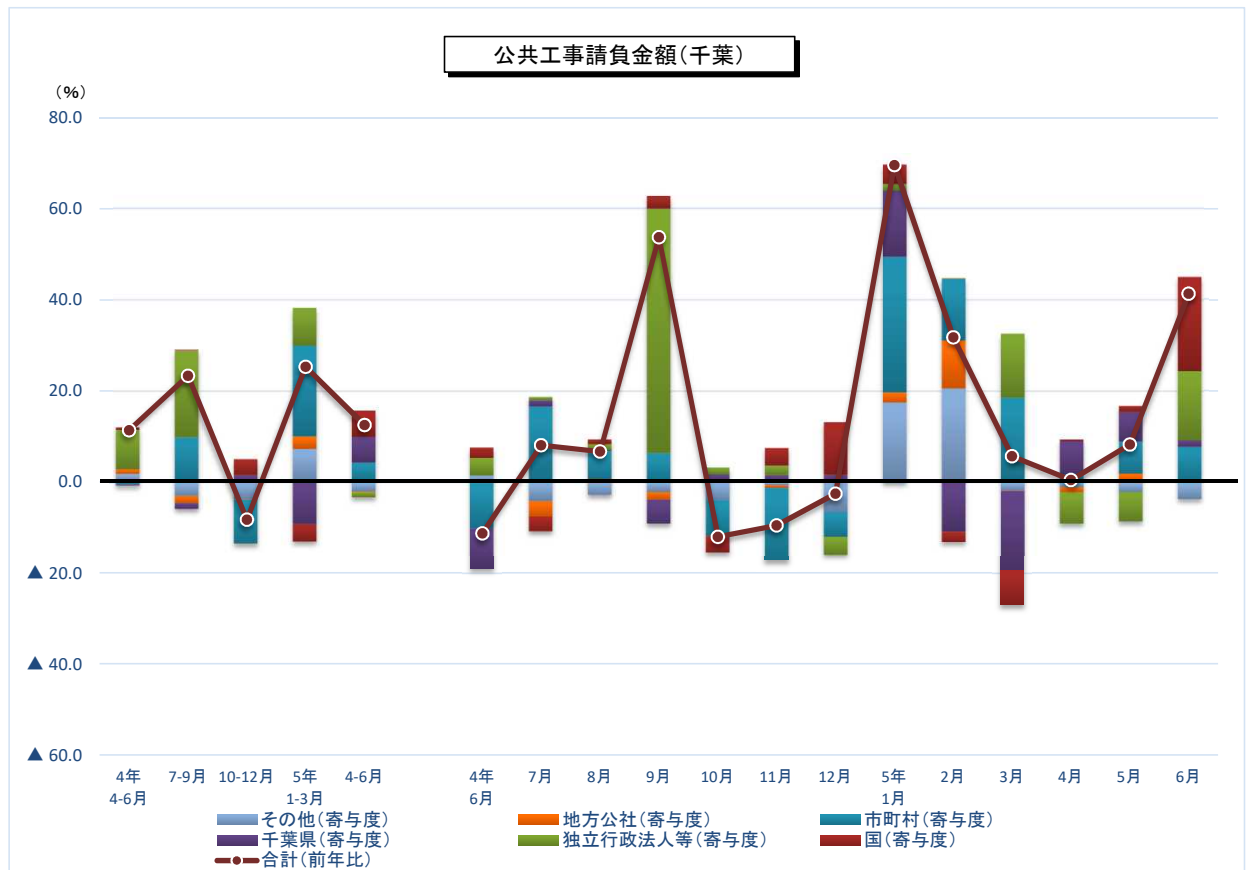
前年を上回っている



[国土交通省]

8. 公共事業

前年を上回っている



[東日本建設業保証株式会社他]